

令和八年度 第二回 一般入校選考試験問題 国語 (答えは解答欄に記入しなさい。)

受験科名 【 】 受験番号 【 】 氏名 【 】

問題一 次の傍線部のカタカナはそれぞれ漢字に直し、漢字は読み方をそれぞれひらがなで答えなさい。

- ①被災地のシエン ②カゲエで遊ぶ ③インキヨシした老人 ④イサンを残す ⑤金銭のジユジュを認める
- ⑥満開のサクラ ⑦劇団のコウエン ⑧エキタイをこぼす ⑨試合にカンパイする ⑩カイカの鑑賞会
- ⑪織度と経度 ⑫表情が陰る ⑬鋭角的なデザイン ⑭有頂天になる ⑮越権行為を許さない
- ⑯格安の物件 ⑰雪解けの水 ⑱快い風が吹く ⑲飯の仕事が入る ⑳運河を渡る
- ㉑見者の占い ㉒価格の高騰 ㉓眼下に広がる風景 ㉔しっかりと根幹 ㉕着地が決まった

問題二 次の空欄に適語を選んで、こたわび・慣用句・四字熟語をそれぞれ完成させなさい。なお、選択肢の記号で答えること。

- ①姿勢 () ②七転 () ③ () 断行 ④ () 曲直 ⑤冷静 ()
 - ⑥立つ () 跡を濁さず ⑦ () とすっぽん ⑧ () 下暗し ⑨ () から火が出る ⑩木で () を括る
- 〈選択肢〉 ア月 イ顔 ウ八起 エ鼻 オ熱慮 カ灯台 キ是非 ク端麗 ケ沈着 コ鳥

問題三 次の文章を読んで、後の問い(問一～問五)に答えなさい。

昨今、人々は「マスメディアに対抗する強力な情報発信ツールを手に入れた。それはインターネットであり、また、それを活用したウェブサイトやブログである。人々はそれらによって、さまざまな自分の活動、知識や趣味、日常生活、そして時には、心境や悩みなどまで公表するようになった。『私作り』の主導権を確保するうえで、画期的な手段である。実際の効果がどの程度かはわからない。だが、イメージ作りのイニシアティブをマスメディアに握られていた人々にとって、自力で公に情報発信する有力な手段を手に入れたことに変わりはないだろう。人々は、今度は自らの手で作った自分自身の物語を世に出そうとする。

これは、ごく一部の人々の話だと思われるかもしれない。(D)このことから、一般的にプライバシーがどのように私たちの自己と関わっているかをはっきり見て取ることができる。彼らに限らず、一般的にプライバシーとは、「私作り」のイニシアティブの問題である。

阪本俊生『ポスト・プライバシー』による

問一 傍線部A「マスメディア」に当てはまらないものとして最も適当なものを、次の中から1つ選べ。

- ア SNS イ新聞 ウテレビ エラジオ

問二 傍線部B「私作り」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の中から1つ選べ。

- ア 人々に見せたい自己イメージを自分からの発信で作りに上げていくこと。
- イ マスメディアで作られた自分のイメージを利用して自分を語ること。
- ウ 自分のプライバシーが守られることを第一に自分の情報を発信すること。
- エ SNSを活用しながら他人からうらやましがられる自分を作り上げること。

問三 傍線部C「これは」の説明として最も適当なものを、次の中から1つ選べ。

- ア マスメディアに対抗する強力なツールを持つこと。
- イ 自分の情報を公に発信する有力な手段を持つこと。
- ウ マスメディアで作られた物語を拒否すること。
- エ 自らの手で作った自身の物語を公表すること。

問四 空欄(D)に入る接続語として最も適当なものを、次の中から1つ選べ。

- ア よって イでは ウやはり エだが

問五 筆者にとって「プライバシー」とはどういうものか。その説明として最も適当なものを、次の中から1つ選べ。

- ア かつてはマスメディアが作っていたのだが、今ではSNSなどで自分から作りあげるものである。
- イ 自身が主導権を握って自己像を作れているのかという点に「プライバシーの問題は深く関わっている」。
- ウ 「私作り」に深く関わる点で、マスメディアの役割とプライバシーには共通する性質があると言える。
- エ SNSで自分自身の物語を自力で作りに出せるようになった現代人のプライバシーは十分に守られている。

〈解答欄〉

問題二	問題一	問題二	問題三	問題四	問題五
問題一	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
問題二	①	②	③	④	⑤
問題三	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
問題四	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
問題五	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕

